

学校通信

教育目標：「新しい時代を生き抜き、地域や日本、世界で活躍する人間の創造」

令和元年7月5日 第8号 四万十町立大正中学校

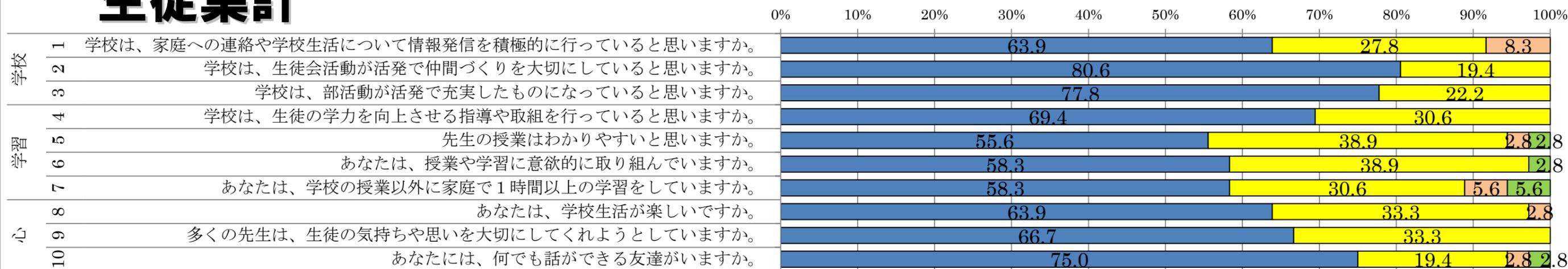


学校評価アンケート（前期）について

令和元年度学校評価アンケート（前期）について、下記のとおり集計しました。今後は、学校関係者評価委員会（地域・学識経験者・PTA）において、本アンケート結果や2学期以降の取組についてご意見を頂き、職員会で教育活動の推進や改善について協議し、取り組んでまいります。ご協力ありがとうございました。

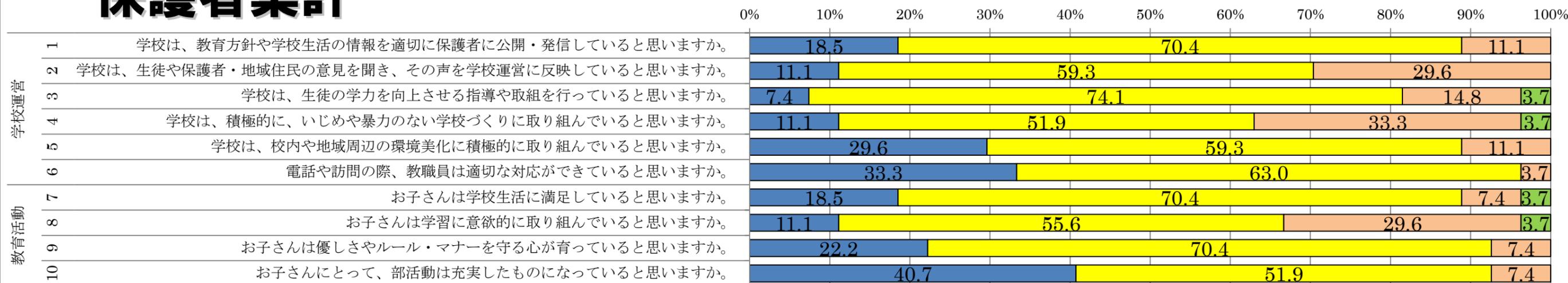
生徒集計

■ A そう思う ■ B ややそう思う ■ C あまり思わない ■ D 思わない



保護者集計

■ A そう思う ■ B ややそう思う ■ C あまり思わない ■ D 思わない



【分析】生徒肯定評価（A回答+B回答）は96.3%、保護者肯定評価は83.0%です。下記のとおり分析し、課題の改善に取り組んでまいります。

生徒の肯定評価は96.3%とおおむね良好でした。特に肯定の割合が大きかったのは設問2「学校は生徒会活動が活発で仲間づくりを大切にしている」設問3「部活動が活発で充実したもの」設問4「学力を向上させる指導や取組」設問9「生徒の気持ちや思いを大切にしてくれる」の4項目が100%でした。昨年度の同時期の結果と比較しても肯定評価が高くなっており学校生活の満足度は向上しているものと考えられます。保護者の評価を見てみると、昨年比で設問7「学校生活に満足」プラス8%、設問8「学習に意欲的」プラス12%、設問10「部活動の充実」プラス7%と向上している項目がありました。自由記述欄でも「地域との係わりやその良さを知り、学ぶ機会があってもいいと思う。教職員も赴任している間はその地域の風土や歴史、芸能、文化を生徒と共に学ぶことは学力向上にも生きてくると考えるから。」という意見があり、保護者や地域の方々の意見に耳を傾けつつ地域に根差した教育ができるようさらに邁進していかなければならないと感じました。そのほかのご意見には「ヘルメットの着用」「ルールを守る」「挨拶を自らす」「身になる家庭学習の在り方」「認め合う仲間づくり」などをご指摘頂きました。このようなご意見を真摯に受け止め、よりよい学校教育ができるように指導してまいります。